

地域とともに歩み向上する清水北小

福井市清水北小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域および家庭への学校公開	11回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	20人
授業ボランティア	837人
登下校支援ボランティア	800人

(3) 特色ある活動

テーマ 心の教育の充実

校外体験学習や農業体験で 地域の自然、産業 伝統、を題材にした地域の学習を推進してきた。自然に恵まれたこの清水地区では学校農園の拡大をはじめ、片粕地区には田園が広がっている。地区の方の協力を受け農業体験を実施した。

*5年生は社会科と総合を関連づけながら、地域の方の協力を得ながら、米作りを探求した。地域の方にお借りした田んぼの一角に苗を植えた。順調に生長し、9月には黄金色の稲穂を実らせた。9月、待ちに待った収穫の日。この日も地域とJAの方にご指導いただき、手作業で稲刈りをした。後日、学校に30kgの白米が運ばれこの白米をなべで炊いて、手作りのみそ汁と一緒に食べた。



農家の方やJAの方、いつもご飯を作ってくれるお家の人、給食の調理員さんに感謝しながら、おいしく食べた。1・2年生は学校農園で、ジャガイモとサツマイモを育てた。11月には落ち葉を集め、刎殻を準備し、じっくりといもを焼いた。これからもこの地域で生きていく子供たちは汗を流し有意義な活動ができた。また、育てたトマトやきゅうりを使ってボランティアさんと一緒にサラダパーティで楽しい時間を持った



2 成果と課題

(1) 成果について

①地域の人材や教材を取り入れ、本物の体験や活動をすることで子どもたちは生き生きと意欲を持って学習することができた。改めて地域に親しみを感じ地域を大切にするという気持ちも育った。

②地域の方と交流し意見交換する中で互いに信頼感を強化することができた。学校の良き応援者、協力者としていい関係をつくることができた。学校の教育活動を推進するための一員としての役割は大きかった。

(2) 課題について

①学校行事とボランティアさんの日程調整が難しい。また、高齢化になり新しいボランティアさんの開拓が必要になってきた。担任の負担、多忙にならないよう取り組みたい。

②ボランティアさんからいろいろ苦情も含め話を聞くが、児童の家庭環境など多方面に原因があり解決できないことも多い。地域・保護者も一緒に連携して問題解決に取り組むたい。地域と密接な関係をさらに築いていきたい。